

# ウンカ類情報第4号

令和3年7月16日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

## トビイロウンカが周辺県で断続的に誘殺されています。 セジロウンカの本田発生量、予察灯誘殺数は平年並です。

### 1 トビイロウンカ

7月上旬までの本田調査では発生を確認しておらず、予察灯においても誘殺されていません。しかし、本年は本県への飛来に適した気象条件が7月15日時点で16回出現しています（表1、昨年同時期での飛来予測は21回）。さらに、岐阜県、三重県及び静岡県において断続的に誘殺が確認されています。これらの状況から、本県においてもすでに飛来している可能性が十分にあります。ほ場に入って株元をよく観察するなど、発生動向に注意してください。

トビイロウンカの防除適期は、各世代の幼虫発生期です。第一世代及び第二世代の幼虫発生盛期にあたる時期の本田防除が、その後の増殖を抑えるうえで有効となります。また、幼虫の成長とともに、薬剤に対する感受性が低下するため、適期防除が重要です。

本県にトビイロウンカが飛来していると仮定し、幼虫の発生予測時期について有効積算温度をもとに計算したところ、表2のとおりとなりました。ほ場におけるトビイロウンカの発生動向、移植時期及び育苗箱施薬による防除の有無などを考慮し、防除を検討してください。

表1 トビイロウンカ成虫の愛知県への飛来予測日（7月15日時点）

5月	17日（2回）、18日（1回）、21日（3回）、29日（1回）
6月	4日（2回）
7月	2日（2回）、3日（1回）、8日（1回）、9日（2回）、10日（1回）

（ ）内は飛来予測回数

表2 有効積算温度をもとに計算したトビイロウンカ幼虫の発生予測時期（7月16日計算）

飛来予測		名古屋	岡崎	豊橋	新城
5月中下旬 飛来群	第二世代幼虫	7月下旬	7月下旬	7月下旬 ～8月上旬	7月下旬 ～8月上旬
6月上旬 飛来群	第二世代幼虫	7月下旬 ～8月上旬	8月上旬	8月上旬	8月上旬
7月上旬 飛来群	第一世代幼虫	7月下旬 ～8月上旬	7月下旬 ～8月上旬	7月下旬 ～8月上旬	7月下旬 ～8月上旬
	第二世代幼虫	8月下旬	8月下旬	8月下旬 ～9月上旬	8月下旬

各地のアメダス平均気温から予測。

7月15日までは実測値を、それ以降は平年値を用いて計算。豊橋は前年値を用いて計算。

## 2 セジロウンカ

7月上旬の本田すくい取り調査において、103ほ場中、県内全域の30ほ場で成幼虫が捕獲されました。発生量は平年並です（表3）。

予察灯では、7月第1半旬から第2半旬にかけて長久手市で誘殺されていますが、誘殺数はほぼ平年並です。ほ場ごとに発生量が異なると考えられるため、ほ場をよく観察し、発生量が多い場合は防除を検討してください。

表3 セジロウンカの本田調査結果（1ほ場あたりの平均捕獲虫数）単位：頭

調査方法	成虫	幼虫	計
捕虫網による20回すくい取り	0.59 (0.62)	0.01 (0.11)	0.60 (0.72)

( ) 内は平年値（平成23年～令和2年の平均）